

日野町告示第2号

令和8年第1回日野町議会臨時会を次のとおり招集する。

令和8年1月16日

日野町長 埴 田 淳 一

1. 期 日 令和8年1月20日
  2. 場 所 日野町議会議場
  3. 付議事件 令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号）
- 

○開会日に応招した議員

小 林 良 泰	小 河 久 人
坪 倉 敏	中 山 法 貴
梅 林 智 子	金 川 守 仁
松 本 利 秋	安 達 幸 博
竹 永 明 文	中 原 信 男

---

○応招しなかった議員

な し

---

---

# 第1回 日野町議会臨時会 会議録 (第1日)

令和8年1月20日 (火曜日)

---

## 議事日程

令和8年1月20日 午後1時30分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- (1) 議会関係の報告 (議長)
  - (2) 一般行政報告 (町長)
- 日程第4 議案第1号 令和7年度日野町一般会計補正予算 (第6号) (町長)
- 

## 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- (1) 議会関係の報告 (議長)
  - (2) 一般行政報告 (町長)
- 日程第4 議案第1号 令和7年度日野町一般会計補正予算 (第6号) (町長)
- 

## 出席議員 (10名)

1番 小林良泰	2番 小河久人
3番 坪倉敏	4番 中山法貴
5番 梅林智子	6番 金川守仁
7番 松本利秋	8番 安達幸博
9番 竹永明文	10番 中原信男

---

## 欠席議員 (なし)

---

## 欠 員（なし）

---

### 事務局出席職員職氏名

局長 ————— 中 田 早 文 書記 ————— 吉 原 尚 志  
書記 ————— 山 縣 実

---

### 説明のため出席した者の職氏名

町長 ————— 塚 田 淳 一 副町長 ————— 音 田 守  
教育長 ————— 安 達 才 智 総務課長 ————— 景 山 政 之  
住民課長兼会計管理者 ——— 荒 木 憲 男 企画政策課長 ————— 神 崎 猛  
健康福祉課長 ————— 住 田 秀 樹 産業振興課長 ————— 杉 原 昭 二  
建設水道課長 ————— 音 田 雄 一 郎 教育課長 ————— 三 好 達 也

---

### 議長挨拶

○議長（中原 信男君） 開会に先立ちまして、年頭の挨拶をさせていただきます。

年頭に当たり、一言御挨拶を申し上げます。初めに、本年1月6日に発生した、島根県東部を震源とするマグニチュード6.4、震度5強の地震は、26年前の鳥取県西部地震を思い起こし、当時の出来事がよみがえりました。日頃の備えと地震に対する意識の必要性を感じ、改めて、町民の皆様に対し安心安全への取組を徹底できるよう再認識したところであります。

さて、今年は60年に一度巡ってくるえとの組合せで、ひのえとうまが重なるひのえうまの年に当たります。ひのえうまの年といえはいろいろと言い伝えがあるようですが、中でも、火のエネルギーが二重に重なる、情熱的でパワフルな真夏の太陽のような力を持つ年と言われております。また、大きな変化とチャンス的一年とも言われております。私たち議会も今年1年、町の課題である人口減少、若者世代の移住定住対策、高齢者の医療、介護、福祉の充実、農林業の維持、推進など、各分野において積極的な政策を提言し、現状を打開する取組を図り、持続可能な町であり続けるよう、勇気と決断力を持って提案していく年にしたいと考えます。その上で、日野町で暮らしている町民の皆様のご生活を第一に考え、町に魅力を感じていただき、住み続けてくれる町となるよう努め、町民から負託を受けた議会として、議員一丸となり、力を合わせて町政を前に進めていきたいと思っております。

令和8年が、日野町にとりまして飛躍し何事もうまくいく年となりますよう祈念し、町民の皆様

様のますますの御健康と御多幸をお祈り申し上げますとともに、議員各位におかれましても健康に留意され、議会運営はもとより、町勢発展のために御尽力を賜りますよう心よりお願いを申し上げます、年頭の挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いをいたします。終わります。

---

### 町長挨拶

○町長（埜田 淳一君） 令和8年第1回日野町議会の開会に先立ちまして、議長のお許しをいただきましたので、新年に当たり一言御挨拶申し上げます。

新年おめでとうございます。謹んでお祝い申し上げますとともに、議員各位、町民の皆様には、希望にあふれる新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は町政推進に深い御理解を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、年末年始に大きな降雪もなく、穏やかな年明けとなったと感じておりましたところ、1月6日午前10時18分頃に島根県東部を震源とする地震が発生し、本町でも震度5強の地震が観測されました。町民の皆様にあっては、2000年に発生した鳥取県西部地震を思い出され、不安を強く感じられたところではないかと拝察いたします。幸いにも揺れ方に違いがあったのか、町内では人的にも、また社会インフラ設備においても大きな被害はなく、また、地震発生後、注意を要する1週間の期間においても被害の報告はなく、安堵してるところでございます。鳥取県西部を中心とする複数の自治体では、断水、家屋の一部損壊、落石による道路通行止め等の被害が発生しており、被災された皆様には心からお見舞い申し上げたいと存じます。

令和8年は、ひのえうま年、ひのえの太陽のような明るさ、情熱、決断力、うまの情熱、前進、飛躍といった明るいイメージを持つ年であります。町政にとりましても、住んでよかったと思えるふるさと、まちづくり、これを推進しなければならない1年であると考えております。

結びに、議員各位、町民の皆様方の御健勝と御多幸を祈念し、そして、この1年がすばらしい年となりますことを心より願ひまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

---

### 午後1時30分開会

○議長（中原 信男君） ただいまの出席議員数は10人であり、定足数に達していますので、これより令和8年第1回日野町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしました日程のとおりであります。

### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中原 信男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員には、会議規則第125条の規定により、3番、坪倉敏議員、4番、中山法貴議員の2名を指名いたします。

---

### 日程第2 会期の決定

○議長（中原 信男君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日の1日間にいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日の1日間と決定いたしました。

---

### 日程第3 諸般の報告

○議長（中原 信男君） 日程第3、諸般の報告を行います。

本町の監査委員から、地方自治法第235条の2の規定による例月出納検査の結果について報告がありました。別紙写しを配付し、報告といたします。

次に、令和7年第6回定例会以後の議会関係について報告いたします。12月17日、1月13日、19日、議会だより146号発行のため、議会広報常任委員会を開催しております。12月19日、日野町消防委員会が開催され、関係議員が出席をいたしました。12月25日、鳥取県西部広域行政管理組合議会決算審査特別委員会が開催され、議長が出席しました。1月14日、商工会主催の新春賀詞交歓会が開催され、議長ほか議員が参加いたしました。

続きまして、一般行政報告を埴田町長が行います。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 令和7年第6回議会定例会以降の一般行政報告をいたします。

まず、1月6日の午前10時18分頃に島根県東部を震源とするマグニチュード6.4の地震が発生し、本町では震度5強を記録し、その後もしばらくは余震が続き、住民の皆様も大変驚かれ、不安な日々をお過ごしになられたことと思います。町では地震発生後、速やかに災害対策本部を立ち上げ、防災行政無線などを使った注意喚起、町内巡視やライフラインなど施設の確認、避難所の開設を行ったところでございます。幸いにも今のところ大きな被害は確認されておま

せんが、住民の皆様におかれましては、引き続き余震には十分注意し、生活していただきたいと存じます。

次に、1月14日には日野町役場において、株式会社丸合と日野町との間で地域連携に関する協定の締結式を行いましたので、その概要を報告いたします。当日は、株式会社丸合代表取締役社長の梅林裕暁様に御出席をいただき、協定を締結いたしました。連携事項につきましては、平常時から住民への安定的な食料品等の提供、地域事業者等との協働による地域経済の活性化、災害時における食料品や生活必需品等の物資提供などの協力体制の構築、高齢者や買物弱者への支援などでございます。今後、双方で協議を重ねながら具体的な取組を進めてまいりたいと存じます。

また、同日には、日野町商工会主催による新年賀詞交歓会が町山村開発センターで開催されました。当日は、町内の各種団体からの79名が一堂に会し、新しい門出をお祝いするとともに、関係団体の連携を深める会となりました。来賓には、赤澤亮正衆議院議員代理と舞立昇治参議院議員代理がお越しになられ、御挨拶をいただいたところでございます。人口減少が進む本町であっても、国、県、町、関係団体が共に様々な課題解決に向け取り組み、住民参画によるまちづくりを進めていかなければならないと感じたところでございます。

以上が一般行政報告でございます。

○議長（中原 信男君） 以上で諸般の報告を終わります。

---

#### 日程第4 議案第1号

○議長（中原 信男君） 日程第4、議案第1号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） ただいま上程されました議案第1号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号）について御説明申し上げます。

議案書を御覧いただきたいと思っております。この補正予算は、歳入歳出それぞれ1億2,084万1,000円を追加し、予算総額を47億843万7,000円とするものでございます。

補正額等は、2ページから3ページ、第1表、歳入歳出予算補正を御覧いただきたいと思っております。このたびの補正予算では、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金7,770万円を活用し、エネルギー、食料品などの物価が高騰する中、その影響を受けている町民全員に、

町内店舗で使える商品券を1人2万円交付する日野町くらし応援商品券事業に5,455万5,000円、日野病院をはじめとする医療、介護、福祉事業所への物価高騰対策支援として1,261万1,000円、生活困窮世帯に対する支援金に62万円、大学等在学生への支援として250万円、児童手当を受給する子育て世帯への支援金として780万円、省エネ家電購入促進事業に250万円を計上しております。その他といたしまして、解散総選挙が見込まれている衆議院議員選挙費として658万4,000円、令和8年1月6日に発生した地震への対策費用として100万円、今後の除雪費用として2,160万円などを計上しております。

詳細につきましては総務課長から説明させますので、御審議いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（中原 信男君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 議案第1号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号）について御説明いたします。

予算書5ページの歳入歳出補正予算事項別明細書は、御覧をいただきたいと思います。

6ページ、歳入について。地方交付税は、普通交付税が再算定され追加交付となることから7,896万1,000円の増額です。

分担金及び負担金、分担金、農林水産業費分担金は、下福長地区の農業用水路改修に伴う農業水路等長寿命化・防災減災事業の地元分担金として14万7,000円の増額です。

国庫支出金、国庫補助金、総務費補助金は、さきの臨時国会で予算化された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が7,770万円の増額です。国庫委託金、総務費委託金は、衆議院の解散総選挙が見込まれることから、衆議院議員選挙費委託金に658万4,000円を計上しています。

県支出金、県補助金、総務費補助金は、1月6日の地震を受け、被災者住宅再建等支援事業費補助金に90万円を計上しています。民生費補助金は、生活困窮世帯に対する光熱費助成事業費補助金が6万2,000円の増額です。農林水産業費補助金は、下福長地区の農業用水路改修に伴う農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金が372万4,000円の増額です。7ページ、県委託金、土木費委託金は、県道除雪応援委託金が478万3,000円の増額です。

繰入金、基金繰入金、財政調整基金繰入金は、今補正の財源調整として5,247万1,000円の減額です。愛と元気の日野町ふるさと基金繰入金は、堆肥活用推進補助金の財源として45万1,000円の増額です。

次に、8ページ、歳出について御説明いたします。総務費、総務管理費、企画費は、省エネ性

能の高いエアコンや冷蔵庫等の購入補助金として250万円を計上しています。財政調整基金費は、再算定された普通交付税の一部について、将来の臨時財政対策債の償還に充てるため、減債基金への積立てとして571万5,000円の増額です。防災諸費は、1月6日に発生した地震により被災した住宅への被災者住宅再建等支援金及び被災者住宅修繕促進支援金として、負担金、補助及び交付金に100万円を計上しています。

9ページにかけて、選挙費、衆議院議員選挙費は、衆議院の解散総選挙が見込まれることから、報酬に105万9,000円、職員手当等に321万9,000円、報償費に3万6,000円、需用費に54万8,000円、役務費に38万9,000円、委託料に123万7,000円、使用料及び賃借料に9万6,000円、合わせて658万4,000円を計上しています。

民生費、社会福祉費、社会福祉総務費は、負担金、補助及び交付金に大学等在学生生活支援給付金として250万円、医療、介護、福祉事業所への物価高騰支援交付金として1,026万円、生活困窮世帯に対する光熱費等の支援金として62万円、合わせて1,338万円を計上しています。児童福祉費、児童福祉総務費は、児童手当の支給を受ける子育て世帯に対する物価高騰対応支援金として、負担金、補助及び交付金に780万円を計上しています。

衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費は、日野病院への物価高騰対応支援金として、負担金、補助及び交付金が235万1,000円の増額です。

農林水産業費、農業費、農業振興費は、化学肥料の高騰による堆肥散布の申込増により、堆肥活用推進補助金の不足が生ずることから、負担金、補助及び交付金が45万1,000円の増額です。10ページにかけて、農地費は490万5,000円の増額です。来年度予算で実施予定であった下福長地区の農業用水路改修事業について、国の追加配分が決定されたことから、測量設計委託料として100万円、工事請負費として390万円、負担金、補助及び交付金は、鳥取県土地改良事業団体連合会への特別賦課金として5,000円を計上しています。

商工費、商工費、商工総務費は5,455万5,000円の増額です。物価高騰の影響を受ける生活者や事業者へ支援するため、町民全員に1人2万円の商品券を交付する日野町くらし応援商品券事業に係るもので、需用費は、消耗品費や封筒などの印刷製本費として4万2,000円、役務費は、商品券の発送費用として71万5,000円、委託料は、商品券取扱店募集、換金等の業務を行う日野町商工会への商品券事務委託料として229万8,000円、負担金、補助及び交付金は、商品券として5,150万円を計上しています。

土木費、道路橋梁費、道路維持費は2,160万円の増額です。今後の除雪費用として、需用費は除雪機の燃料代60万円、委託料は除雪事業者への委託料2,100万円、それぞれ増額で

す。

以上が一般会計補正予算（第6号）の提案説明でございます。

○議長（中原 信男君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑は、歳入歳出全般にわたって行います。質疑はありませんか。

8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） まず、歳入、地方交付税についてお尋ねをいたします。再算定という今までにない言葉で増額になっております。7,896万1,000円という大きなお金が増額になったこの再算定というものの、これだけ膨れた要因というのはどういうふうに伝え聞いておられますか。

○議長（中原 信男君） 交付税。

景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） このたびの国の普通交付税の再算定の要因でございますが、まず1点目は、職員の給与費改定に伴うものでございます。これは、国の人事院勧告に基づきまして本町も給与改定を行ったわけですが、そちらのほうが当初見込みより、国が見込んだよりも人勧幅が多かったということで、追加で交付されたものでございます。これが約1,800万円弱の試算となっております。また、先ほど申し上げました臨時財政対策債の翌年度以降の償還に充てるものとして、これが約600万円弱となっております。残りの5,400万でございますが、こちらについては経済対策費ということで、様々な物価等も上がっておるということで自治体の支出も増えてるということで、そういった部分の再算定がなされ、これが約5,400万程度、追加配分になったというものでございます。説明は以上です。

○議長（中原 信男君） 8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） 日野町という自治体が、物価高騰の人件費も含めてなっている以上、そういうような補填に使ってくださいという意味合いと受け止めました。

しかしながら、今回の予算は、そういうものは今後使われるにしても、取りあえず財調に繰戻しをしておりますね。その本来の趣旨からしたらちょっと違うんじゃないかなと思ったりしますが、今後この町の自治体の物価高騰等の対策にどういうふうに使われるという、使ってほしいということでの増額になっとるんですが、これ、違うものに使ってもいいという縛りっていうものはあるんでしょうか、そこをお尋ねします。

○議長（中原 信男君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 改めて説明いたします。経済対策費の5,400万というものにつ

きましては、決して経済対策にこれから使ってくださいというだけのものではなく、先ほど申し上げましたが、今年度になっても様々なものが行政経費でもかかっているという部分で、非常に全国の自治体も財源確保に苦慮してるというのが現状でございます。そういった中で、非常に各自治体の歳出も今年度の当初に比べても増加傾向が出ているということで、そういった部分の補填の再算定というふうに認識しております。ですので、今回再算定で交付されるお金を何か新たなものに使ってくれというわけではなく、自治体の財政運営の中で、そういう経済対策でかかっている費用、そういったものの穴埋めとして算定されてるものというふうに理解しているというところでございます。

○議長（中原 信男君） 8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） 歳入についてはよく分かりましたので終わりますが、続いて、歳出について、いいですか。

○議長（中原 信男君） どうぞ。

○議員（8番 安達 幸博君） 先ほどの説明では項目ごとでありましたので、この歳入で国から物価高騰対応重点支援臨時交付金7,770万という多額なお金が来とるわけであります。これに対応するように、支出のほうも物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金はこの事業に幾ら使いましたというような説明をお願いできますか。意味分かるか。

○議長（中原 信男君） 7,770万を交付……。

○議員（8番 安達 幸博君） 別の使い道を。

○議長（中原 信男君） を、ですか。

○議員（8番 安達 幸博君） はい、教えてください。

○議長（中原 信男君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 先ほど、予算のほうの歳出の説明させていただきました。このたび交付金を使ってする事業のまず総額でございますが、こちらが8,058万6,000円の事業費となっております。その中に交付税7,770万円を充当するというので、充当率にしましたら約96.5%の充当をしております。

では、どういった事業に充てているかということになりますと、先ほど説明いたしました省エネ家電購入促進事業、こちらのほうに250万円、続きまして、大学等在学生生活支援給付金支給事業に250万円、原油価格・物価高騰に係る社会福祉施設等の支援事業として1,026万円、生活困窮世帯に対する光熱費等の助成事業に62万円、子育て世帯の物価高騰対策支援金として780万円、日野病院への物価高騰対応支援金として235万1,000円、最後に、日野

町くらし応援商品券事業に5,455万5,000円。以上、足し上げたところが8,058万6,000円という事業費となります。説明は以上です。

○議長（中原 信男君） 8番、安達幸博議員。

○議員（8番 安達 幸博君） 本町の財源も入れて8,000万近くの物価高騰対策が本町でもできるわけでありますが、今申し上げられた事業別のものはよく分かりましたが、もう少し担当課から、ここだけは町民の皆さんに伝えたいというようなものがあったら教えてください。

○議長（中原 信男君） 担当課、神崎企画政策課長。

○企画政策課長（神崎 猛君） そういたしますと、企画政策課からは、省エネ家電の購入促進事業について説明をさせていただきます。これは、近年、エネルギー価格等が相当高騰しておりますので、家計負担が大きく増大しているというところでございます。それで、古い家電を使い続けることで光熱費の負担が増えて家計費を圧迫しているという現状を踏まえまして、省エネ性能の高い家電製品の購入を支援しようというものです。これは、家計負担の軽減に加えて地球温暖化対策というような、2つの目的を同時に達成するというような趣旨のものでございます。補助対象者は町内に住民登録のある方、それから、自ら居住する住宅に省エネ家電を使われる方、それから、1世帯1回限り、町税に滞納がないというような条件を付してございます。

それで、対象になる製品なんですけれども、これはエアコンであるとか電気冷蔵庫、そういったもので国の省エネ基準を満たすもの。具体的には、統一省エネラベルというものがそれぞれの製品にございますけれども、これの星が3つ以上、それから、達成率が100%以上というような指定があるものでございます。補助率は、補助対象経費の2分の1で5万円を上限というふうにしております。予算に関しましては250万円としておりますので、これに達したら締め切るということになります。説明は以上です。

○議長（中原 信男君） 各課、ほかに説明をしておきたいというところはありますか。

住田健康福祉課長。

○健康福祉課長（住田 秀樹君） それでは、大学等在学生生活支援給付金です。国の制度も併せて、高校生以下には支援があるんですが、こちらの高等教育学んでおられる方については支援がないのが現状です。やはり物価高騰のあおりを受けているのはそういった家庭も受けておられますので、日野町独自の大学生の支援を今回やろうということで提案をしております。

すみません、お配りしております資料をちょっと訂正いただきたいんですが、自宅外から通学していることというふうには書いておりますが、今回は自宅から通学していてもこの支援金の対象としておりますので、そこを訂正をお願いいたします。この事業、学生1人につき5万円を支給

する事業でございます。

それと、12月定例会で物価高対応子育て応援手当という予算を、国の制度なんですけど、1人当たり2万円という制度を提案させていただきました。今回、独自に5万円給付に増額して実施をしたいと考えております。主立ったものについては以上です。

○議長（中原 信男君） 今のは大学等在学生生活支援のことでしたね。

ほかにありますか。

杉原産業振興課長。

○産業振興課長（杉原 昭二君） 産業振興課では、令和7年度日野町くらし応援商品券について事業実施をさせていただきたいと思っております。物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するために、町民の皆様全員に、地元で使える商品券1人当たり2万円分を交付させていただきます。対象者といたしましては全町民の方。基準日、議決日以降になりますけれども、出生者の方も対象者とさせていただきます。交付金額は、先ほども申しました1人当たり2万円分でございます。使用期間は、令和8年3月下旬頃から8月31日までの使用期間ということで予定しております。商品券につきましては、3月上旬頃から送付を始めたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（中原 信男君） 安達議員、各事業の説明がありました。よろしいですか。

○議員（8番 安達 幸博君） はい。

○議長（中原 信男君） そのほか質疑はありますか。

4番、中山法貴議員。

○議員（4番 中山 法貴君） 歳出の総務費、企画費の250万につきまして、先ほど日野町省エネ家電購入促進事業の説明がありましたが、これはいつの購入日のものから適用されますでしょうか。

○議長（中原 信男君） 神崎企画政策課長。

○企画政策課長（神崎 猛君） 今議会で予算が承認されましたら、制度設計等に入ります。大体には決まってるんですけども、そうすると、最短で全戸に周知をするのが2月の初めの自治会長便になるというふうに考えておりますので、そこから一斉に申込みのスタートを受け付けたいというふうに考えております。以上です。

○議長（中原 信男君） 4番、中山法貴議員。

○議員（4番 中山 法貴君） では、2月の中旬までに買ってしまったということですが、買ったものに関しては、この補助は受けられないということよろしいですか。

○議長（中原 信男君） 神崎企画政策課長。

○企画政策課長（神崎 猛君） それに関しては、お見込みのとおりでございます。以上です。

○議長（中原 信男君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

3番、坪倉敏議員。

○議員（3番 坪倉 敏君） 先ほどのこの省エネ家電の関連質問なんですけど、個人の家庭では、どういうものが省エネの家電に当たるのかというのがなかなか分かりにくいんじゃないかと思うんですが、その辺の線引きというのはどういう具合に考えておられますか。

○議長（中原 信男君） 神崎企画政策課長。

○企画政策課長（神崎 猛君） 基本的には、先ほど申しあげました統一の省エネラベルの評価が三つ星以上か、それから、何ていうんですかね、省エネ基準の達成率が100%以上のものというようなことでございます。大体これに条件が当てはまるものといいますと、エアコンであるとか冷蔵庫、テレビに関しても一部あったかと思えます。それから、エコキュートとか便座とか、そういったものもございます。その辺につきましては、量販店であるとかウェブサイトであるとかで確認いただければというふうに考えております。以上です。

○議長（中原 信男君） よろしいですか。

ほかに。

〔質疑なし〕

○議長（中原 信男君） 質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（中原 信男君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第4、議案第1号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中原 信男君） 起立多数。よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

---

○議長（中原 信男君） 以上で本臨時会に付議された事件は全て議了いたしました。

よって、会議規則第7条の規定により、閉会いたしたいと思います。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中原 信男君） 異議なしと認めます。

これで令和8年第1回日野町議会臨時会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。  
終わります。

午後2時14分閉会

---